

令和2年度当初予算額

一般会計	116億69万6千円	前年度比 3.6%減
国民健康保険特別会計	37億1,962万3千円	前年度比 4.1%減
後期高齢者医療特別会計	4億674万8千円	前年度比 2.2%増
公設浄化槽事業特別会計	3,651万4千円	前年度比 4.3%増
水道事業会計	15億5,044万1千円	前年度比 0.0%減
下水道事業会計	10億5,606万4千円	皆増
合計	183億7,008万6千円	前年度比 0.8%減



※下水道事業特別会計および農業集落排水事業特別会計は、令和2年度から下水道事業会計となりました。

特集

寄居町の施策と予算

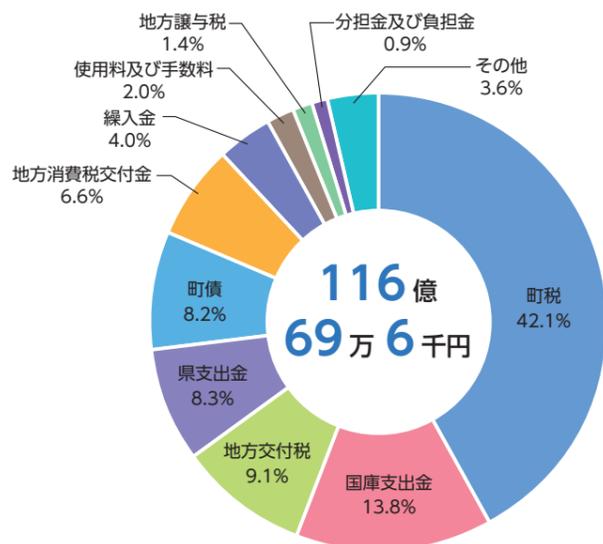
花輪町長 令和2年度の行財政運営に関する所信表明から

本年度の予算は、一般会計が116億69万6千円（前年度比3.6%減）、その他5つの会計を含めた全体では、183億7,008万6千円（前年度比0.8%減）の予算となりました。ここでは、町議会令和2年第1回定例会（3月議会）の冒頭で行われた花輪町長の令和2年度の行財政運営に関する所信表明から、町の主要な施策と予算の概要をお知らせします。

財務課 ☎581・2121内線321

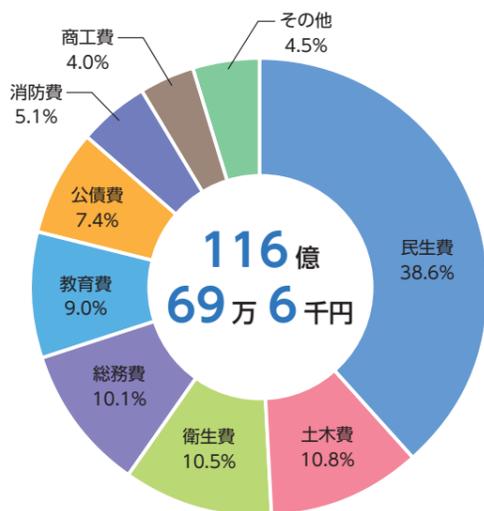
一般会計 歳入

町税	48億8,555万円
国庫支出金	15億9,730万6千円
地方交付税	10億6,000万円
県支出金	9億5,795万6千円
町債	9億4,720万円
地方消費税交付金	7億7,000万円
繰入金	4億6,274万9千円
使用料及び手数料	2億2,944万5千円
地方譲与税	1億6,100万1千円
分担金及び負担金	1億398万6千円
その他	4億2,550万3千円
合計	116億69万6千円



一般会計 歳出

民生費	44億7,784万5千円
土木費	12億4,986万6千円
衛生費	12億1,597万9千円
総務費	11億7,699万5千円
教育費	10億4,502万3千円
公債費	8億5,475万9千円
消防費	5億9,276万円
商工費	4億6,343万4千円
その他	5億2,403万5千円
合計	116億69万6千円



基本方針

我が国の景気は、政府の経済政策の下、穏やかな回復基調にあります。国内では昨年10月に行われた消費税率の引上げや、海外では米中貿易摩擦、イギリスのEU離脱など、日本経済への影響が危惧される状況にあり、また、昨年来猛威を振るう新型コロナウイルス関連肺炎が、保健医療の分野のみならず、経済にも影響を与えるものと懸念されております。

こうした中、現在我が国が抱える最大の課題である超高齢・人口減少社会の急速な進行は、経済規模の縮小や担い手の減少等、全国の自治体に共通する喫緊の行政課題となり、行政サービスの担い手である自治体間の競争は激しさを増しております。

このことから、私は、寄居町が常に選ばれる町であり、ここで暮らしたいと思われる町であるために、重点施策を「教育施策の充実強化」「女性の活躍推進」「健康長寿」の3つと定め、全力で取り組んでまいります。私の第2ステージ3年目を

迎える本年度においても、この3つの施策を重点施策とし、昨年度と同様「中心市街地の活性化」「川の国はつらつプロジェクトの推進」「企業誘致の推進」の3つのテーマを加え、さらに充実した形で着実に進め、寄居町が安心・安全な暮らしと、豊かな地域社会を持続できる町であるよう、その道筋をしっかりと築いてまいります。

また、本年度は第6次総合振興計画前期基本計画の4年目であり、施策・事業の具体的な成果が求められる重要な予算となります。前期基本計画の事業進捗をさらに加速させ、目標の達成に向けて積極的に事業を展開するとともに、事業効果の分析を行い、住民ニーズをしっかりと受け止めて後期基本計画へと繋げてまいります。

以上の考え方に基つき、令和2年度の町政運営にあたりましては、地方自治体を取り巻く多くの課題を真摯に受け止め、それを乗り越えるべく、町民の皆さまと知恵と力を出し合いながら、全力で取り組んでまいります。